

守口サービスセンター再整備事業について

＝目次＝

1. 昨年度の取組結果概要
2. 本年度の進め方
3. ワーキングの結果報告
4. ヒアリングの結果報告
5. 利活用プログラムの試行について
6. アンケートの実施方針（紹介）

1. 昨年度の取組結果概要

はじめに

- 守口サービスセンター再整備事業は、守口地区に整備されていた守口スポーツプラザ及び守口サービスセンターの取り壊し後の公園の再整備を検討するものである。
- 再整備にあたっては、公園の立地やニーズを踏まえ、民間企業のアイデア、ノウハウなどの民間活力の活用を視野に検討を進めた。
- 昨年度は、守口地区に導入する機能について検討を行ったが、今年度は、さらにそれら機能の必要性と採算性を踏まえながら導入機能のバランスを図り、守口地区の備える機能や大まかな配置等を定める公園整備計画の検討を進めていく。

昨年度 守口地区に備える機能を検討

↓
機能のうち、公共事業として整備すべきもの、民間事業で整備するものを整理

今年度 公益性と収益性のバランスを図り、民間活力を取り入れながら、より充実したサービスの提供が可能な公園管理を目指す



1. 昨年度の取組結果概要 守口地区再整備について (昨年度の下流域地域協議会の振り返り)

淀川河川公園の整備の考え方 河川は人を含むすべての生物にとって共有の財産であり、淀川における自然環境や歴史・文化、人との関わりを大切にしたい公園にする

守口地区に求められる効果 「河川公園管理」「環境維持・改善、自然環境の保全・活用」「健康・レクリエーション空間提供」「コミュニティ形成」「観光振興」

河川公園としての機能
○親水性 ○生物多様性(自然、動植物) ○オープンスペース ○情報提供

社会的背景・歴史
○健康増進 ○コミュニティ形成 ○団地、病院が隣接 ○宿場町

淀川河川公園下流域協議会 検討プラットフォーム アンケート・市場調査

守口地区の再整備に関する導入機能(案)
求められる効果を具体的な導入機能(案)として整理しなおすと、以下6つのキーワードが抽出できる。

- 公園管理 : 公園として最低限必要な機能、ビジターセンター (管理運営、情報提供、レンジャーの活動拠点など)
- 自然とのふれあい : 都市部であるが日常的に自然を身近に感じ、ふれあえる場
- 教育・研究 : 環境維持・改善に向けた啓発、知識習得の場
- 憩い・交流 : 住宅地に位置する公園としてより多くの人が憩い、交流できる賑わいの場
- 健康・レクリエーション : 広域的な河川公園としてより多様な体験や活動に利用できる場
- 観光 : 守口宿や舟運等の守口の歴史を通して守口らしさを感じる場

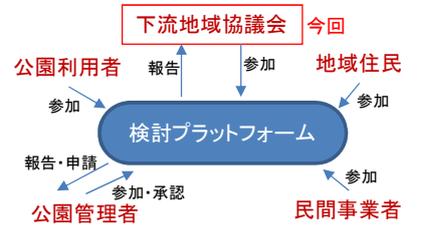
【もの】の提供
・会議室 ・軽食、カフェ ・資料室 など

【こと】の提供
・イベント、プログラム ・セミナー ・自然環境の知識 など

【守口らしさ】の提供
・宿場町の雰囲気 ・多世代交流 など

【組織の役割について】
淀川河川公園下流域協議会
・ 淀川河川公園基本計画(平成20年8月改定)に基づき設置されている組織
・ 全4ブロック(上流、中流左岸、中流右岸、下流)に分かれ、地区ごとの特性に応じた協議が進められる
・ なお、上位組織として地域協議会の代表者が出席する「全体協議会」がある

検討プラットフォーム
・ 守口サービスセンターを核とした、守口地区周辺の利活用促進に向けた検討組織
・ 公園管理者、公園利用者(下流域協議会メンバー含む)、運営者となり得る民間企業などが参加する「WG(ワーキング)」を開催し、管理運営等に関する話し合いを行う



1. 昨年度の取組結果概要 機能の整理 (昨年度の下流域地域協議会の振り返り)

地区に求められる機能等の整理

公園として必要な効果
都市公園が社会資本として機能することにより、中長期的に得られるストック効果10項目から、守口地区に必要と考えられる4つの効果を抽出した。

ストック効果10項目

- 1 河川公園管理**
環境維持・改善、自然環境の保全・活用
景観形成
- 2 健康・レクリエーション空間提供**
防災性向上
文化伝承
子育て・教育
- 3 コミュニティ形成**
- 4 観光振興**
地域経済活性化

※効果10項目は国土交通省「都市公園のストック効果向上に向けた手引き」に基づき設定

守口地区に必要な機能の検討
抽出した4つの効果におけるキーワードをベースに、以下3パターンの機能を設定し、検討を進めた。



	公益機能	収益機能	概要
①	公園管理機能	コミュニティビジネス型	<ul style="list-style-type: none"> ■充実した公益機能と必要最低限の収益機能 ・公園としての公益性を重視 ・収益機能は管理運営費を賄う必要最低限のもの ・運営者としての自由度は限られるが、不特定多数の利用者に開かれた公園運営が可能
②			<ul style="list-style-type: none"> ■公益機能と収益機能が同等規模 ・公益性を発揮しつつ、管理運営費以外の収益も見込める ・ある程度の公益機能を維持するため、収益性は高いものではない
③		ビジネス型	<ul style="list-style-type: none"> ■必要最低限の公益機能と充実した収益機能 ・民間事業者が運営に携わりやすい ・プログラム内容等によっては、利用者が限られる可能性もある

1. 昨年度の取組結果概要 機能の整理 (昨年度の下流域地域協議会の振り返り)

検討プラットフォームの構築及び運営支援

・開催の流れ

開催日	実施内容
第1回 10月6日 (金)	導入機能について① ・現地確認 ・守口地区の整備イメージ、機能について ・市場調査内容、調査項目等の確認
第2回 1月12日 (金)	導入機能について② ・WGの位置づけ、守口市域の紹介 ・市場調査結果、住民アンケート結果の報告、機能整理 ※合同事業説明会で興味を持った企業の参加
第3回 3月2日 (金)	再整備計画についての 今年度のまとめ ・再整備計画立案に向けた導入機能等についての合意形成

下流域地域協議会
(開催報告)

下流域地域協議会
(進捗報告)

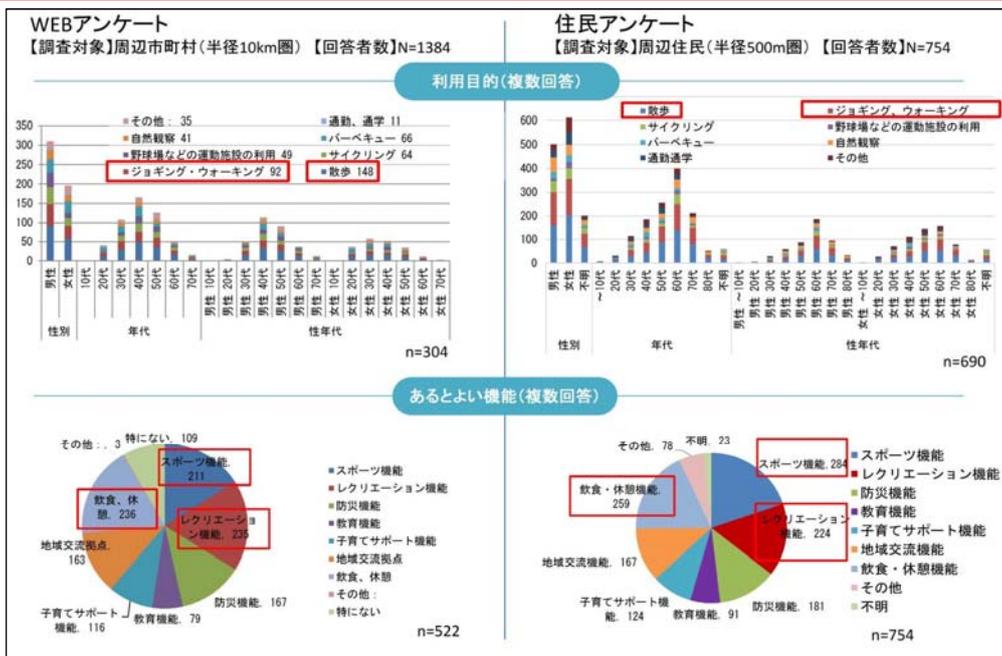
・ワーキングでの主な意見(抜粋)

- ・ジョギングや散策等の河川利用者用として、堤防天端付近にトイレやシャワー、軽い飲食施設があれば利用者が多いと考える。
- ・再整備にあたっては、駐車場からの収益を建設費に充当する等の仕組みも考えられる。
- ・水際部に船着場等を整備し、舟運機能や親水空間と一体となった公園整備が望ましい。
- ・駅等から河川公園までのわかりやすいルート標示があると良い。
- ・建物はなるべく堤防に近づけられると良い。大きな建物は必要ないがカフェなどがあると利用者も多いのではないかと。
- ・サービスセンターでレンタルサイクルの貸し出しを行えば、市街との連携も取れる。
- ・場所の持つ特性を考えながら、公益機能と収益機能のバランスを持たせた機能配置で検討を進める。
- ・別途学生に意見を聞く機会があり、機材等貸し出しのあるバーベキューがほしいという意見があった。
- ・対象地は市の中でも重要な場所であるが、主要な出入り口は階段ばかりのイメージがある。建物を建てる際は、高低差を物理的に解消する計画や誘導手法の検討など、堤防へ誘導できる仕掛けが必要と思われる。
- ・地元の活動や利用者に対するマネジメントも含めた管理運営を委託する方が民間にとっても活用できるのではないかと。
- ・地元とどう関わっていくかも重要である。

1. 昨年度の取組結果概要 機能の整理 (昨年度の下流域地域協議会の振り返り)

住民アンケートの実施

「①WEBアンケート」と「②周辺住民アンケート」の実施により、「守口地区とその周辺の利用状況」および「公園利用者のニーズ」を把握した。

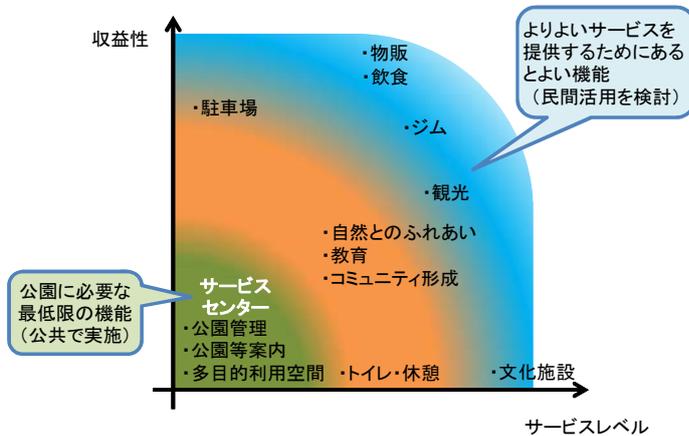


WEBアンケート、周辺住民アンケートのいずれも、利用目的は「散歩」「ジョギング、ウォーキング」、あるとよい機能については「飲食、休憩」「スポーツ機能」「レクリエーション機能」との回答が多く得られた。

1. 昨年度の取組結果概要 機能の整理 (昨年度の下流域地域協議会の振り返り)

官民連携の必要性と考え方について

- 全国的に公園整備・維持管理予算が確保しづらい状況の下で公園の再整備が必要となっており、民間活力を活用した魅力ある公園づくりが求められている
- 公園に求められるニーズを把握しつつ、採算性がなくとも公共サービスとして最低限な部分については公共で実施し、民間ベースで成立可能なサービスについては積極的な民間活力の導入を図り、両者でもってより魅力的な公園づくりを目指す



- トイレ・休憩スペース、公園管理センター執務室等は民間事業としての収益性は見込めないが、公園としては必須なので、公共で実施する。
- 駐車場や物販、飲食等は、公園としてのニーズも見込め、一定の収益力も想定されるので、民間活用を検討する。

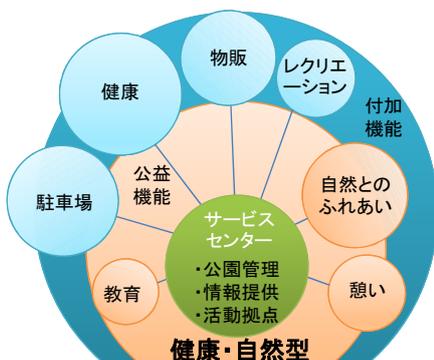
【官民連携による公園に必要なイメージ(例)】

1. 昨年度の取組結果概要 機能のまとめ (昨年度の下流域地域協議会の振り返り)

守口地区に必要な機能のまとめ

検討した3パターンの機能「自然体験型」「地域振興型」「健康型」について、ワーキングや住民アンケート等の意見を踏まえて見直しを行った。
その結果、スポーツ・レクリエーション、物販・飲食、さらには河川敷との一体利用に資することができる「自然体験型」と「健康型」の機能をミックスする「健康・自然型」を設定した。

健康・自然型機能イメージ



- 淀川の広い河川敷を活用した運動やレクリエーション等の健康づくりやリフレッシュが日常的にできる場
- 淀川河川公園の特徴である都市部で身近に自然を感じることができる空間を活かした各種自然体験や活動の場
- 民間事業者が参入することで、より充実したプログラムの提供が可能

1. 昨年度の取組結果概要 機能のまとめ (昨年度の下流域地域協議会の振り返り)

健康・自然型機能イメージ

健康・自然型機能を導入した場合の具体的な活用例として以下のようなメニューが想定される。

具体的な活用例

(メニュー → 実施場所)



健康

ジョギング、ウォーキング
→ 堤防、河川敷、シャワー室
ストレッチ等準備運動 → トレーニング室
筋カトレーニング
→ トレーニング室、シャワー室
スポーツ教室
→ トレーニング室、運動施設、シャワー室



憩い レクリエーション

生涯学習教室 → 多目的室、河川敷
マラソン大会
→ 堤防、河川敷、シャワー室
釣り → 河川敷、栈橋
フリーマーケット → 河川敷



教育 自然との ふれあい

自然観察会 → 河川敷、多目的室
カヌー教室 → 河川敷
自然を紹介する企画展 → 多目的室



サービス センター

公園施設の運営管理 → 管理室
イベント等情報発信 → 管理室
各種教室等の受付 → 管理室



物販

カフェ → サービスセンター内飲食スペース
スポーツ、アウトドア系ショップ
→ サービスセンター内物販スペース
公園利用者向けの売店
→ サービスセンター内物販スペース



駐車場

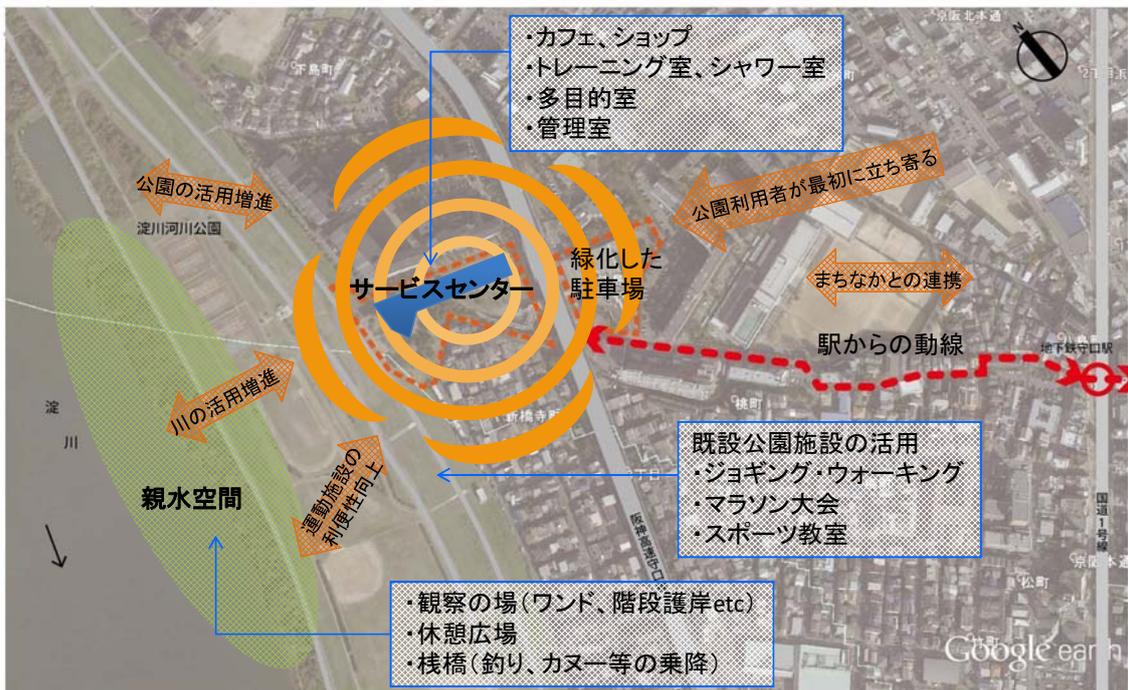
緑化された駐車場

1. 昨年度の取組結果概要 機能のまとめ (昨年度の下流域地域協議会の振り返り)

○一体化に向けた機能連携 (WGで出された利用イメージ)

機能配置イメージ【健康・自然型】

サービスセンターに公園利用者や地域住民の「健康・自然」に関する活動拠点として、また、親水空間とまちなかをつなぐ結節点としての機能を持たせる。



※水辺の利用については、河川事業と要調整(国営公園の区域外)

1. 昨年度の取組結果概要 昨年度協議会の主な意見（守口地区について）

第2回下流域地域協議会（2018/02/06） 守口地区に関する意見と対応

	指摘事項・主な意見等	対応・検討内容
1	<ul style="list-style-type: none"> 公園内の施設を中心とした整備側の視点のみの計画となっていないか。より公園利用者の目線で需要・ニーズを把握する必要がある アンケートの質問で「どのような施設を整備してほしいか」とあるが、施設を作ってほしいという意見ばかりでは意味がない。どのような施設・機能であれば利用・滞在したいと思うか調査すべき。 	<ul style="list-style-type: none"> 利用者となり得る方を対象として、より詳細なアンケートを行い、需要側のニーズの把握を進める。 アンケートでは、具体的な施設、サービスを提示した上で、それらを使いたいと思う利用料（無料、有料）も問い、必要性をより身近に回答できる聞き方とする。
2	<ul style="list-style-type: none"> どういった整備をしたら子供が利用できるか、という視点が抜けている 子供たちが水辺で遊べるということを目指して活動しているが、現状は危ないため近寄らない。 守口市には自然が少ないため、淀川の自然は重要視している。子供が入れない、遊べないというのは問題。 	<ul style="list-style-type: none"> 子供（小学生）がいる家族層を利活用プログラムのターゲットとし、守口市の教育委員会経由で市内の小学生へプログラムのチラシを配布、周知・広報を図る。 守口地区周辺における子ども達の活動しやすさについては、ハード整備の検討と合わせて、プログラムの試行等を通じてソフト面の検討も行っていく。
3	<ul style="list-style-type: none"> 川と街の結節点・入口となることから、環境学習や川らしさの素敵さを知るきっかけになる施設となればよい。 公園に施設ができれば便利なのは間違いないが、淀川河川公園には多くの自然が残されているため、機能の設定には、自然との棲み分けや自然とのふれあい、天然記念物があるという点を踏まえた検討が必要。 淀川は見どころがたくさんあり魅力を発信していく必要がある。 	<ul style="list-style-type: none"> 守口地区は川と街の結節点・入口であり、地域の自然資源として貴重な空間であることから、淀川の自然環境の学習や、自然とのふれあいにつながるような活用も実施できるよう検討する。 試行プログラムは川や自然とふれあえるメニューも検討する。
5	<ul style="list-style-type: none"> 滞在時間が5～10分程度の楽しみ方しかできないようでは、なかなか公園を利用してもらえない。 公園に滞留させるために、休憩施設や観光・情報発信などの機能を併せ持つとよいのではないか？ 	<ul style="list-style-type: none"> 通過するだけでなく、滞留して使って頂けるよう、民間ベースのものも含む利活用プログラムも試行する。 観光・情報発信にも利用可能な多目的スペースの配置も検討する。

10

2. 本年度の進め方

本年度の目的



本年度のポイント

【ワーキング意見より】

- 管理範囲（管理べき施設、公園区域など）の明確化
- 管理範囲外の公園施設（外島地区、太子橋地区など）に関する利用連携等について
- 利用者ターゲットの絞り込みを踏まえた施設規模の設定
- まち側とのつながりについて

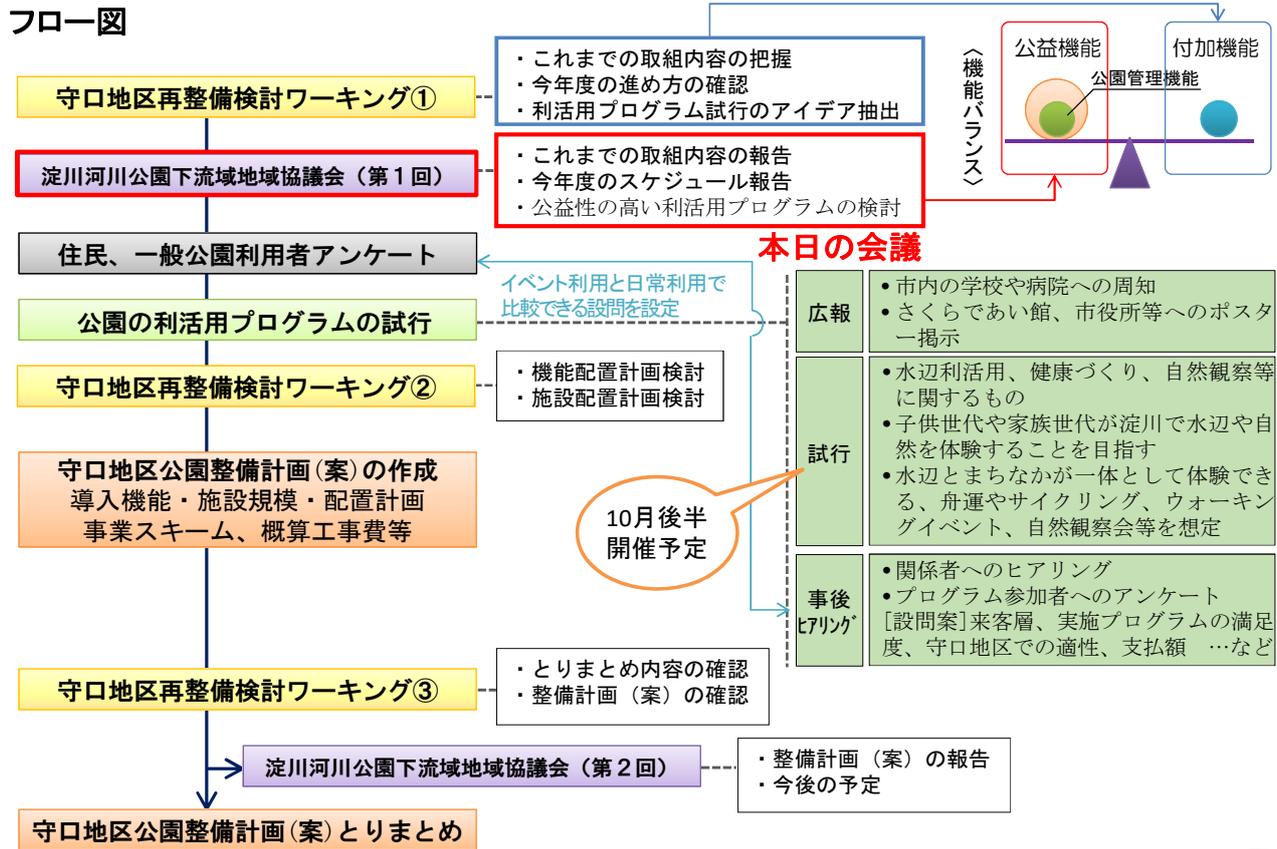
【平成29年度第2回下流域地域協議会より】

- 公園のニーズに合った公園計画になっているか
- 都市の中で残る自然も活かせる公園となっているか
- 公園利用を促進する観点で、滞留させるための機能を併せ持っているか

11

2. 本年度の進め方

フロー図



12

3. ワーキングの結果報告

①第1回WG概要

【WGの目的】

民間活力を活かした事業の検討として、特に淀川河川公園守口地区に求められる付加機能のサービス内容や価格、採算性について、地元自治体、企業、大学等を交えて意見交換を行った。

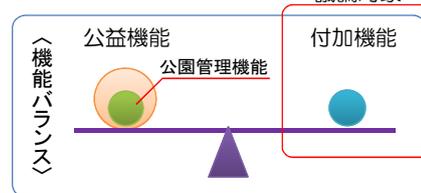
【第1回WG】

・平成30年7月31日（火）
14:00～16:20

【参加メンバー】

- ・公園管理者：淀川河川事務所、淀川河川公園管理センター
- ・公園利用者：守口市北十番連合町会会長
守口門真商工会議所
- ・地元自治体：守口市 都市整備部 公園課長
都市計画課長
市民生活部 生涯学習・スポーツ振興課 課長
- ・リース会社
- ・公園管理運営事業者
- ・運動施設運営者
- ・大学教授（健康系）

第1回ワーキングでの議論対象



13

3. ワーキングの結果報告

②第1回WGの意見抜粋

【主な意見】

- ✓ やりたい(できる)プログラムだけをやってみても、その場かぎりのイベントになってしまうのではないか。事業性の検証は十分に行う必要がある。
- ✓ 公園の利用にあたっては駐車場が必要。
- ✓ 「グランピング」は準備が非常に大変である。キャンププログラムとして自然観察やカヌー体験を併せて実施すれば人も集まりやすいのではないか。
- ✓ ロードバイクは今後需要も高まると思うので試してみてもよいのではないか。駐車場で自転車を組み立てて、京都方面へ行き、戻ってサービスセンターのシャワーを利用して帰るといふ流れができるとよい。
- ✓ 守口市は平坦な土地であるため、自転車のプログラムは取り入れやすいのではないか。
- ✓ 夏は水辺、秋は自転車というように、季節ごとのプログラムがあってもよいのではないか。
- ✓ 自転車のプログラムを行う場合は、歩行者との棲み分けが必要である。
- ✓ 子どもを対象としたプログラムが少ないようなので、遊具の設置を試してみるのはいかがでしょうか。大型遊具の替わりとなる空気で膨らむ遊具もある。
- ✓ 昨年度の地域協議会では自然を保全する意見が多く出ているようであり、それとの調和も考える必要がある。
- ✓ 子ども向けのSUP※イベントを行ったことがあるが、流れがあるとなかなか難しい。小学3～4年生程度になれば問題はないかもしれない。
- ✓ 人を集めるという考えでは、子供をターゲットとするのがよい。親御さんも集まりやすく、アンケートを取る場合にも様々な年齢層の意見が拾える。子どもは無料で大人は有料としてもよいかもしれない。

※SUP(stand up paddle)は、ウォータースポーツの1つ。サーフボードの上に立ちオールを使用して漕ぐ乗り方。

14

4. ヒアリングの結果報告

今年度の「利活用プログラムの試行」やその後の事業展開に向けて、スポーツ施設運営事業者や大学(健康系学科)等にヒアリングを実施した。(本年度第1回ワーキングと並行して実施)

核となる施設について

- シンボルマークになるものがないと集客が難しい。
- 何かに特化した施設づくりでなく代替性のあるテナント構成が大事。
- 通年のスケートリンクであれば目玉となりうるが、公園内でのスポーツ事業は稼ぐ手段になりえない。
- 物販をするならばそこでしか手に入らないものをすべき。
- 自転車活用推進法が閣議決定されたこともあり、自転車についてはニーズがあると感じる。
- 自転車や地産地消カフェと観光案内といった組み合わせが考えられる。
- 「健康や食」に加えて、「福祉」が大事になる時代だと考えている。

試行するプログラムや今後の事業展開の可能性について

- 守口地区で店舗を構えるとなると不明だが、イベントを目的とした出店であれば候補はいるだろう。
- プログラムが継続できるかどうか課題。レジャーやヨガは長続きせず、新規顧客の開拓を継続しなければならない。
- 健康系の教室を開催するならば、何回か検診にきていただいて効果を確認する必要があるため、複数日開催が理想。
- 継続して開催される取組であれば、スポーツ用品の販売などで協力できるかもしれない。
- 水辺の取組をするならば、枚方地区からSUPで淀川を下り、守口地区で回収するという取組は効果が大きいと思う。
- 大阪はインバウンド観光客も多いため、船で守口まで来て、地下鉄で帰ることも想定される。

その他

- 守口大根や門真レンコンが有名なため、公園内で畑や農業ができれば加工や販売も考えられる。
- 大学の授業として、水辺を利用できる場所は限られているため、近くで授業ができる場所が増えるのならば非常にありがたい。
- 職員用のレクリエーション施設や保育所などがあればありがたい。
- 都市部の子供は水辺に触れる機会が少ないため、水辺の大切さを教えていきたい。
- 水辺教育に力をいれていけば、水辺への入り口(どう水辺へ近寄るか、淀川の水質等)が課題になるだろう。
- 屋根や木陰がないため、夏場の暑さや雨を凌げる場所が必要。
- 冬場の利用が課題。

15

5. 利活用プログラムの試行について

目的

- 守口地区の再整備に向けた必要な機能、配置、利用者ニーズ等を確認するため、「健康・自然型機能」に関連した利活用プログラムを試行する。
- 利活用プログラムは、公益性の高いプログラムと収益性のあるプログラムを両方実施し、健康、レクリエーション、自然体験など様々な利用が共存する方策を検討する。
- また、利用者アンケートを実施し各プログラムの支払意思額等を把握するとともに、必要なコストを算出、比較して市場経済の元での持続可能性についても検証する。

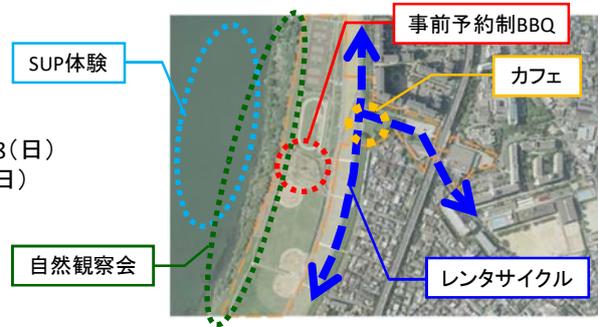
実施概要

【開催日】

- ・平成30年10月20(土)21(日)、27(土)28(日)
- ・SUP体験のみ平成30年11月10(土)11(日)

【プログラム(案)】

1. **事前予約制BBQ** 協力: 府営公園でBBQ運営の実績がある地元飲食系事業者
2. **カフェ** 協力: 守口門真商工会所属の地元飲食系事業者
3. **SUP体験** 協力: 日本シティサップ協会(大阪府下で活動)
4. **レンタサイクル** 協力: レンタル業者
5. **自然観察会** 協力: 淀川管内河川レンジャー、シニア自然大賞



16

5. 利活用プログラムの試行について

実施内容

- 持続性のある運営の可能性を調査するため、基本的に有料での実施を想定。

	プログラム	概要	検証ポイント	実施規模・設定金額(案)
1	事前予約制BBQ	食材及び器材全てを提供する手ぶらBBQを行う	<ul style="list-style-type: none"> ● 手ぶらBBQの需要を調査(集客性、採算性) ● 近隣住戸への影響(臭い、騒音等)を検証 ● 他プログラムとの両立(場所、時間帯など)の可能性を検証 	実施規模(1日あたり) 10組×2クール 1組あたり4~8名を想定 設定金額 2,000~6,000程度のコース
2	カフェ	公園利用者の休憩拠点として、ゆっくりくつろげる場所を提供する	<ul style="list-style-type: none"> ● 飲食機能の需要の調査(集客性、採算性) 	実施規模(1日あたり) 1~2台のキッチンカーを配置 設定金額 1杯300~500円程度
3	SUP体験	初心者でも扱いやすいSUPを利用した水辺レジャーを提供する	<ul style="list-style-type: none"> ● 手軽に水辺環境に親しむ場の機会を創出する効果の確認 ● 継続的なプログラム実施の可能性(場所性、料金、需要)を調査 	実施規模(1日あたり) 10人程度×3クール 1クールあたり約90分 設定金額 1人3,000円程度
4	レンタサイクル	普通自転車や、変わり種自転車の貸し出しを行う	<ul style="list-style-type: none"> ● まちなかとの連携効果を検証 ● 新たな公園利用者の獲得 	実施規模(1日あたり) 普通自転車10台 変わり種自転車3台 設定金額 半日あたり500円
5	自然観察会	守口地区を拠点に、淀川河川公園で自然と触れ合う観察会を行う	<ul style="list-style-type: none"> ● 守口地区周辺の自然環境のPR効果の確認 ● 継続的なプログラム実施の可能性(場所性、料金、需要)を調査 	実施規模(1日あたり) 15人程度×3クール 1クールあたり約90分 設定金額 1人700円程度

※詳細は【資料1別冊】を参照

17

5. 利活用プログラムの試行について

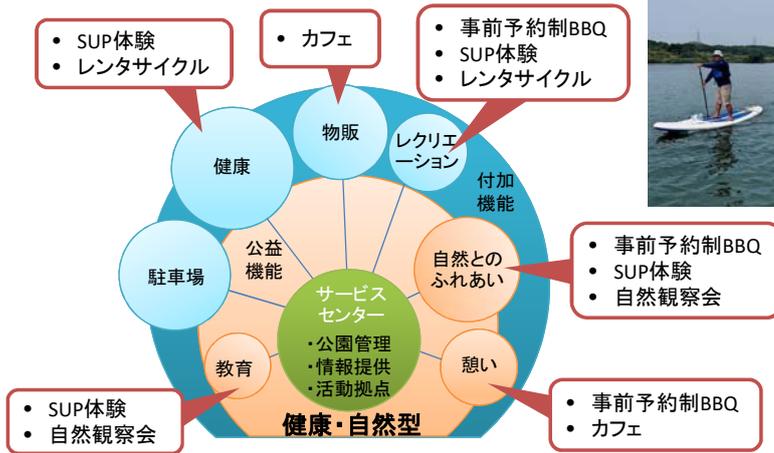
実施イメージ



レンタサイクル



自然観察会



SUP体験



事前予約制BBQ



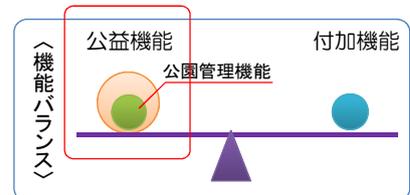
カフェ

利活用プログラムの内容については別紙参照

5. 利活用プログラムの試行について (本日の議題)

議題

試行するプログラムの内容について
特に淀川の自然環境の学習や、自然とのふれあいにつながるようなプログラムはどのようなものが考えられるか



- 試行プログラム案（別冊資料）を確認しながら以下について意見交換を実施。

【主な留意点・視点】

- ✓ 守口地区を拠点に淀川の自然、淀川や沿川の魅力を伝えられるプログラムにはどんなものが考えられるか
- ✓ 自然観察会と連携して実施できる、または新たなプログラムとは
- ✓ 公益性の高いプログラムとBBQ等の集客性の高いプログラムの連携や両立の可能性について
- ✓ 公益性の高いプログラムにおける持続可能な運営体制について

6. アンケートの実施方針（紹介）

目的	利活用プログラムでの体験等を通して、「淀川河川公園らしさ」や「守口地区らしさ」を踏まえた、導入機能や配置計画、経済効果等の参考とする。
アンケート結果より抽出したい事項	<ul style="list-style-type: none"> ・守口地区ならではの利活用メニューの創出 ・導入機能や施設配置等についての利用者ニーズの把握 ・利用サービス・機能への金額評価
対象者	<ul style="list-style-type: none"> ・利活用プログラム参加者 ・公園利用者（日常的な利用者）：WEBアンケートを想定 ・近隣住民（平成29年度配布範囲と同様、半径500m程度の居住者）
実施方法	<ul style="list-style-type: none"> ◎利活用プログラム参加者に対して ・利活用プログラム当日に配布、その場で回収 ◎公園利用者（日常的な利用者）に対して ・守口サービスセンターにアンケート・回収BOXを設置 ・教育、福祉関係機関へ配布 ◎近隣住民に対して ・平成29年度配布範囲と同じ範囲にポスティング

20

6. アンケートの実施方針（紹介）

設問項目（共通） <ul style="list-style-type: none"> ●試行する利活用プログラムについて <ul style="list-style-type: none"> ・関心度、料金設定の適正 ・淀川河川公園・守口地区へのふさわしさ ●公園で実施するプログラム全般について <ul style="list-style-type: none"> ・料金を支払ってでも利用したいサービス、料金の目安 ・参加・利用頻度 ●その他 <ul style="list-style-type: none"> ・回答者属性 <p>・・・など</p>	設問項目（プログラム参加者） <ul style="list-style-type: none"> ・プログラムの周知・認知方法（どのようにして知ったか） ・参加した理由 ・良かった点、改善点 ・他にあったら参加したいプログラム <p>・・・など</p>
	設問項目（公園利用者） <ul style="list-style-type: none"> ・プログラムの周知・認知方法（試行プログラム開催を知っていたか、通常の情報入手源） ・試行プログラムのうち参加してみたいもの、理由 ・公園でのイベント等に参加する際の基準（決め手） <p>・・・など</p>
	設問項目（近隣住民） <ul style="list-style-type: none"> ・プログラムの周知・認知方法（試行プログラム開催を知っていたか、通常の情報入手源） ・試行プログラムのうち参加してみたいもの、理由 ・各プログラムの影響の有無（臭い、騒音など） ・公園でのイベント等に参加する際の基準（決め手） <p>・・・など</p>

21

【資料 1 別冊】
試行プログラム案

平成 30 年 8 月

国土交通省 近畿地方整備局 淀川河川事務所

I. 守口地区及び淀川河川公園の現況把握

(1) 守口地区及び隣接地区の主な施設

守口地区に隣接する地区としては、「外島地区」及び「太子橋地区」がある。以下に3地区の主な施設を示す。守口地区に隣接する地区では、陸上、野球、テニスは楽しめるが、サッカーやラグビー、ゲートボール等に対応するスペースはない。

表 守口地区及び隣接地区の主な施設

地区名	スポーツ施設	レクリエーション施設	その他
守口地区	無し	広場	
外島区	テニスコート6面、陸上トラック	BBQ広場	WC
太子橋地区	野球場2面、少年野球場1面	芝生広場、BBQ	WC 駐車場231台

(2) 淀川河川公園のサービスセンター一覧

淀川河川公園にあるサービスセンター等の位置及び施設内容は以下の通りである。

表 サービスセンター一覧

施設名	所在地	主な施設内容	駐車台数
守口サービスセンター	守口市外島町7-6		10台
庭窪レストセンター	守口市八雲北町3-39-5	会議室(15名)、シャワー室、ロッカー、更衣室、他	4台
鳥飼サービスセンター	摂津市鳥飼下1-8-1	情報コーナー、シャワー室、ロッカー、更衣室、他	7台
太間サービスセンター	寝屋川市太間町7-31	展示室、シャワー室、更衣室、他	0台
さくらであい館 (背割堤サービスセンター)	京都府八幡市八幡在応寺	展望塔、情報発信コーナー、イベント広場、学習室、会議室	22台

(3) 淀川河川公園内のバーベキュー施設

淀川河川公園の40地区のうち、バーベキューのできる地区(バーベキュー指定区域のある地区)は、下表に示す21地区である。このうち、西中島地区のみが有料施設であり、その他の地区は、無料となっている。守口地区に隣接する2地区にもバーベキュー指定区域がある。

表 バーベキュー指定区域のある地区

市町村	地区名	市町村	地区名
大阪市	西中島(有料)、海老江、豊里、長柄、毛馬、赤川、太子橋	摂津市	鳥飼西、鳥飼下、鳥飼上
守口市	外島、八雲、佐太西	高槻市	三島江、大塚
寝屋川市	太間、木屋元	八幡市	背割堤
枚方市	三矢、枚方	大山崎町	大山崎

(4) 淀川河川公園のプログラム

淀川河川公園では、四季にあわせたプログラム等が随時行われている。それらを公園における機能毎に分類した結果を下表に示す。(プログラム情報/淀川河川公園HP旬のオススメ情報、ジモティー大阪版)

表 淀川河川公園のプログラム

機能	分類	プログラム名	地区
健康	健康増進	<ul style="list-style-type: none"> ● スロージョギング教室 ● ナチュラルヨガ教室 	<ul style="list-style-type: none"> ・背割堤 ・背割堤
	スポーツ	<ul style="list-style-type: none"> ● ふれあいマラソン ● グラウンドゴルフ大会 ● よどがわこどもスポーツフェスタ ● 親子ラクロス体験教室 	<ul style="list-style-type: none"> ・枚方 ・仁和寺野草 ・枚方 ・枚方
教育、自然とのふれあい	自然観察会	<ul style="list-style-type: none"> ● 春の野草を楽しむ野草教室 ● 背割堤の野鳥を観察しよう ● 淀川の自然を楽しむ会 ● 淀川わいわいガヤガヤ祭 ・移動水族館、淀川河川公園のパネル展示、淀川の自然景観と歴史等 	<ul style="list-style-type: none"> ・背割堤 ・背割堤 ・枚方、十三野草 ・鳥飼上
	体験教室	<ul style="list-style-type: none"> ● よどがわカヌー体験教室 ● 親子カヌースクール ● ツリーイング ● 動物ふれあいフェスティバル ● 淀川わいわいガヤガヤ祭 ・イカダづくりと体験乗船、淀川クルージング、水上オートバイ・キッズボート・救難艇、淀川キッズSUP 	<ul style="list-style-type: none"> ・枚方 ・背割堤 ・背割堤 ・枚方 ・鳥飼上
憩い、レクリエーション	生涯学習	<ul style="list-style-type: none"> ● 草木染めワークショップ ● さくらチップの燻製づくり教室 ● 淀川わいわいガヤガヤ祭(春の緑花祭) ・春の緑花祭(寄せ植え教室他) ・森のクラフト、木工教室、万華鏡づくり、防災関連 	<ul style="list-style-type: none"> ・背割堤 ・背割堤 ・鳥飼上
	レクリエーション	<ul style="list-style-type: none"> ● 凧揚げ大会 ● のりものあつまれ!はたらくるま ● 犬のお散歩マナー教室&ドッグラン ● 淀川わいわいガヤガヤ祭 ・モンキーブリッジ、ミニ電車体験乗車、似顔絵コーナー、フットサル、トランポリン体験、実演、インラインスケート体験、自転車安全運転教室 ● ワインガーデン de プチひらコン ● リバーピクニック読書会、超Voice読書レッスン 魅力を、五感鍛錬読書遊 ● アウトドアコン(趣味コン)企画♪大阪淀川100人BBQパーティー、関西大阪アニソンBBQ大会、やりたいことやりつくそう! 僕らの贅沢BBQ 他各種BBQイベント ● ゆにフェス ・音楽ライブ、フリーマーケット、出店 ● 千人の月見の宴 ● ・Jeepで行く! 焚き火の集い~takibi~ 	<ul style="list-style-type: none"> ・枚方 ・枚方 ・背割堤 ・鳥飼上 ・枚方 ・西中島 ・西中島、太子橋他 ・太子橋 ・枚方 ・豊里
物販	市、マルシェ	<ul style="list-style-type: none"> ● 枚方宿みなど五六市(八軒屋浜から定期船復活) ● ・ミュージック&マルシェ YOU~結~ 	<ul style="list-style-type: none"> ・枚方 ・背割堤

(5) 守口地区周辺施設

「川」の施設である守口地区の周辺には、医療・福祉、歴史、公園・緑地、鉄道駅等、連携可能な「まち」の施設が立地している。

表 守口地区周辺施設

分類	施設名	直線距離
医療・福祉施設	・松下記念病院 ・パナソニック健康保険組合 松下介護老人保健施設 は一とびあ	・約 150m ・隣接
歴史	・東海道五十七次の宿場町「守口宿」 ・京街道、文祿堤	・約 600m ・約 600m
公園・緑地	・桃町緑道公園	・約 100m～
鉄道	・谷町線「守口駅」 ・京阪本線「守口市駅」	・約 500m ・約 900m

(6) 守口地区及び周辺地区の現状まとめ、課題

淀川河川公園の施設は、スポーツ関連のものが多く、利用者層が限定される。スポーツ以外のレクリエーション施設としては、バーベキュー指定区域が約半数の地区で設定されているが、西中島以外は無料で利用者が食材や道具等の全てを用意する必要がある。

守口地区に隣接する外島地区及び太子橋地区のスポーツ施設としては、テニスコート、陸上トラック、野球場があるが、他の地区で見られるサッカー場やラグビー場、ゲートボール場等はない。また、外島地区及び太子橋地区のいずれにもバーベキュー指定区域が設定されている。

「川」の施設である守口地区周辺には、「まち」の施設である医療・福祉、歴史、公園・緑地、鉄道駅等があるが、川とまちを繋ぐプログラム等が乏しい状況となっている。

淀川河川公園で行われるプログラムは、様々なものがあり、特に、背割堤という特異な立地やさくらであい館等の施設が充実している背割堤地区、比較的規模が大きく、枚方スタジアムや広場が充実している枚方地区で様々なプログラムが多く開催されている。

守口地区周辺では、太子橋地区でバーベキューに関連するプログラムを中心にイベントが開催されている。淀川河川公園で行われているプログラムは、各地区単独で行われているものがほとんどであり、各地区を繋ぐプログラムや川とまちを結びつけるプログラム等が少ないのが現状である。(舟運、サイクリング、ウォーキング、スタンブラリー等)

(7) 試行プログラム立案の基本的な考え方

前年度では、ワーキングや住民アンケート等の意見を踏まえ、守口地区に必要な機能として、スポーツ・レクリエーション、物販・飲食、さらには河川敷との一体利用に資することができる「自然体験型」と「健康型」の機能をミックスする「健康・自然型」を設定した。

- 淀川河川公園の特徴である都市部で身近に自然を感じることができる空間を活かした各種自然体験や活動の場。
- 淀川の広い河川敷を活用した運動やレクリエーション等の健康づくりやリフレッシュが日常的にできる場。
- 民間事業者が参入することで、より充実したプログラムの提供が可能

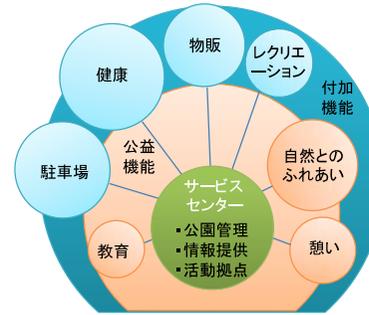


図 機能配分イメージ

表 機能と施設例

機能	施設例（河川空間の施設例）	公益	付加
公園管理	管理室、トイレ	●	
情報提供	物販スペース	●	○
活動拠点	多目的室	●	
教育	多目的室、(階段護岸)	●	○
自然とのふれあい	(階段護岸、ワンド、棧橋)	●	○
憩い	カフェ、(芝生広場、休憩施設)	●	○
レクリエーション	多目的室、トレーニング室、(芝生広場、運動施設)	●	○
物販	カフェ、売店		●
健康	トレーニング室、シャワー室、(芝生広場、堤防天端)	○	●
駐車場	緑化駐車場		●

●・・・主要機能 ○・・・サブ機能

そこで、試行プログラムは、「健康・自然型」機能を満たすプログラムを検討することとし、拠点性の高い守口地区の地域特性や淀川河川公園の自然環境等の特性を踏まえ、魅力的で持続可能なプログラムを選定する。また、守口地区のみにとどまらず、淀川河川公園全体の活性化やまちの活性化に繋げるべく、川・まち連携や淀川河川公園の広域的な連携に資するプログラムを検討する。

さらに、より充実したプログラムの提供を目指し、民間事業者が参入できうるプログラムを検討する。

Ⅱ. 試行プログラム案 《自然とのふれ合いに関連するプログラム》

1. 淀川の生き物観察会

《教育、自然とのふれあい》

(1) プログラム実施の目的

- ・ 守口地区周辺で淀川の自然を体験できるプログラムの可能性について調査する。
- ・ 野鳥、水生動物等の観察会のニーズについて調査する。

(2) プログラムの内容(案)

- ・ 水生生物観察会
- ・ 野鳥観察会
- ・ 昆虫観察会 (生態、虫の音)

(3) 参加対象者、募集方法

- ・ 参加対象者は、家族連れ、小学生・保育所・幼稚園等の団体等
- ・ 募集方法は、淀川河川公園のホームページ、守口市広報などの媒体を通じて行う。

(4) 実施規模・設定金額(案)

- ・ 実施規模：1日あたり15人程度×3クール
- ・ 1クールあたり約90分
- ・ 設定金額：1人700円程度 (講師代、資料費 など)

(5) アンケートで確認すること

- ・ プログラムの需要、支払額、評価 (メニュー、立地特性、規模、配置等)
- ・ 利用客の属性
- ・ 移動手段

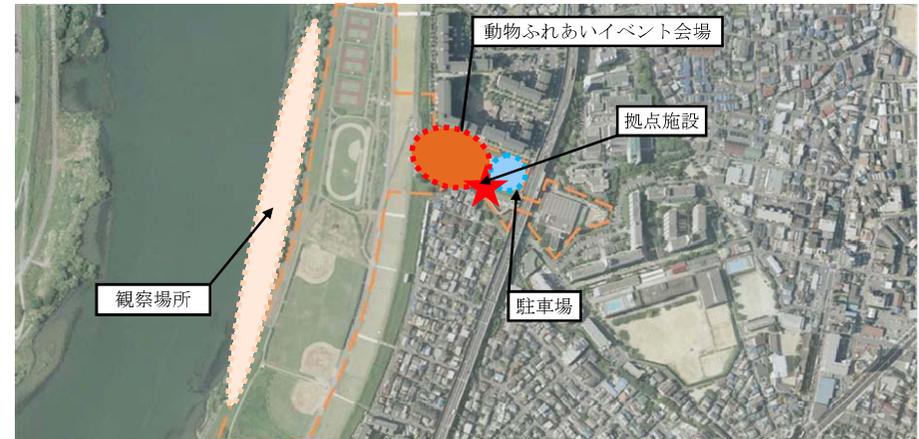
(6) プログラム連携団体案

- ・ 淀川管内河川レンジャー
- ・ シニア自然大学校

(7) 期待される機能

- ・ 教育：淀川の自然に関する教育、知識の醸成
- ・ 自然とのふれあい：都市住民に対する自然や動物とのふれあいの場の提供

(8) プログラム実施場所



(9) プログラム実施イメージ



事例1：水生生物観察 (大淀川学習館ブログ)



事例2：野鳥観察 (島根県 HP)



事例3：動物ふれあい (ワールド牧場 HP)

2. 淀川の野草を楽しむ会

《教育、自然とのふれあい》

(1) プログラム実施の目的

- ・淀川の自然を体験できるプログラムの可能性について調査する。
- ・観る、作る、遊ぶ、食べる等、単なる自然観察とは異なるプログラムのニーズについて調査する。

(2) プログラムの内容(案)

- ・野草観察会
- ・野草を使った遊び

(3) 参加対象者、募集方法

- ・参加対象者は、家族連れ、小学生・保育所・幼稚園等の団体等
- ・募集方法は、淀川河川公園のホームページ、守口市広報などの媒体を通じて行う。

(4) 実施規模・設定金額(案)

- ・実施規模：1日あたり15人程度×3クール
- ・1クールあたり約90分
- ・設定金額：1人700円程度（講師代、資料費 など）

(5) アンケートで確認すること

- ・野草観察の需要、支払額、評価（メニュー、立地特性、規模、配置等）
- ・野草を使った遊びの需要、支払額、評価（メニュー、立地特性、規模、配置等）
- ・利用客の属性
- ・移動手段

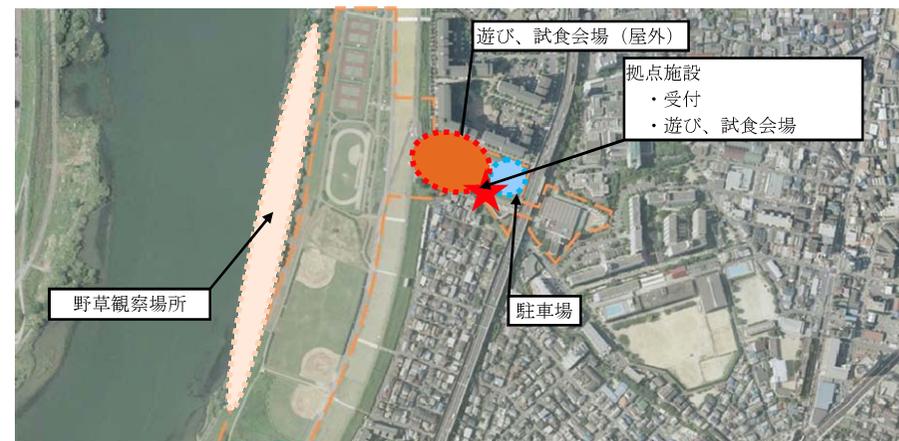
(6) プログラム連携団体案

- ・淀川管内河川レンジャー
- ・シニア自然大学校

(7) 期待される機能

- ・教育：淀川の自然に関する教育、知識の醸成
- ・自然とのふれあい：都市住民に対する自然とのふれあいの場の提供

(8) プログラム実施場所



(9) プログラム実施イメージ



事例1：野草観察会（静岡新聞 HP）



事例2：野草試食会（宮代水と緑の初ワーク HP）



事例3：野草遊び（さくらっ子共同保育園 HP）

Ⅲ. 試行プログラム案 《実施予定のプログラム》

1. 手ぶら BBQ

《機能／憩い・レクリエーション、川・まち連携》

(1) プログラム実施の目的

- ・プログラム実施により、開かれた屋外空間の立地を活かし、集客・収益の見込まれる手ぶらBBQ施設の常設可能性を調査・検討する。
- ・将来的な目玉施設の常設化により、守口地区の知名度向上及び活性化を図る。
- ・公益性の高いプログラムとの連携や共存の可能性について調査し、持続的な公園運営に資するプログラムとなりうるか確認する。

(2) プログラムの内容

- ・守口地区の阪神高速西側敷地（以下、西側敷地という）及び外島地区にて手ぶらバーベキューを実施する。受付や食材の提供をサービスセンターで行い、バーベキューは外島地区にて行う。
- ・食料の他、調理器具やバラソルなどの備品類も含めた一式を貸し出す。

(3) 参加対象者、募集方法

- ・参加対象者は、ファミリー層、友人、カップル等幅広く設定する。
- ・募集方法は、淀川河川公園のホームページ、守口市広報などの媒体を通じて行う。

(4) 実施規模・設定金額(案)

- ・実施規模：1日あたり10組×2クール
- ・1組あたり4～8名を想定
- ・設定金額：2,000円～6,000程度のコース

(5) アンケートで確認すること

- ・手ぶらBBQの需要、支払額、評価（立地特性、導入機能、規模、配置等）
- ・バーベキュー資材のレンタル及び食材供給の需要、支払額、評価（立地特性、サービス等）
- ・公共性の高いプログラムとの両立の可能性
- ・周辺住居への影響の有無
- ・利用客の属性
- ・移動手段

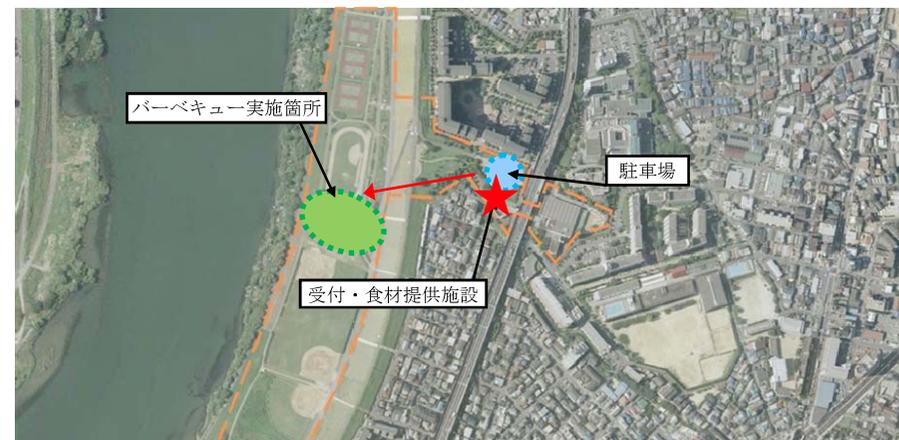
(6) プログラム連携団体

- ・府営公園等でBBQ営業の実績が多数ある地元飲食系事業者

(7) 期待される機能

- ・憩い、レクリエーション：BBQを通じたレクリエーション、賑わい創出

(8) プログラム実施場所



(9) プログラム実施イメージ



事例1：舞洲バーベキューガーデン・オーチャードグラス



イメージ2：高水敷でのBBQ



イメージ1：守口地区での手ぶら BBQ



事例2：そなエリア東京バーベキューガーデン

(1) プログラム実施の目的

- ・他プログラムと同時開催可能なカフェの可能性について調査する。
- ・通常の公園利用者の需要についても調査する。

(2) プログラムの内容

- ・オープンカフェ (キッチンカー等)

(3) 参加対象者、募集方法

- ・参加対象者は、あらゆる対象
- ・募集方法 (広報) は、淀川河川公園のホームページ、守口市広報などの媒体を通じて行う。

(4) 実施規模・設定金額(案)

- ・実施規模：1~2台のキッチンカーを配置
- ・設定金額：1杯300~500円程度のドリンク類を販売

(5) アンケートで確認すること

- ・オープンカフェの需要、支払額、評価 (メニュー、立地特性、導入機能、規模、配置等)
- ・日常的な利用のニーズ把握
- ・同時開催の他のプログラムへの参加状況
- ・利用客の属性
- ・移動手段

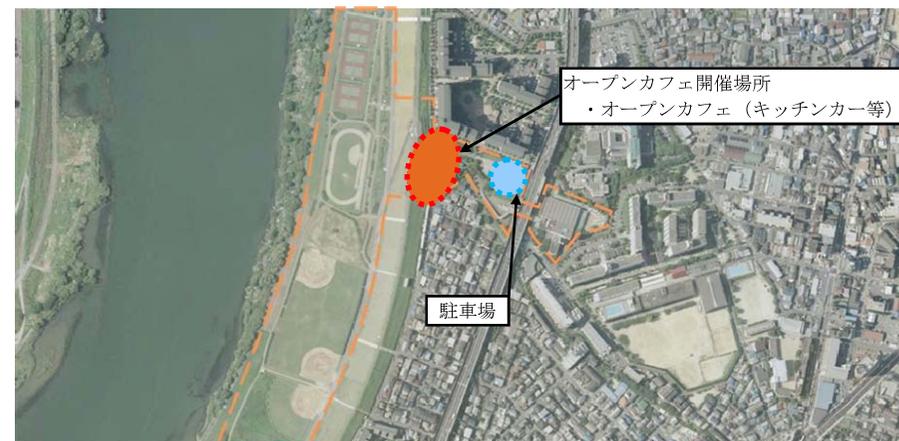
(6) プログラム連携団体

- ・守口門真商工会所属の地元飲食系事業者 (イベント等へのキッチンカーの出店実績多数)

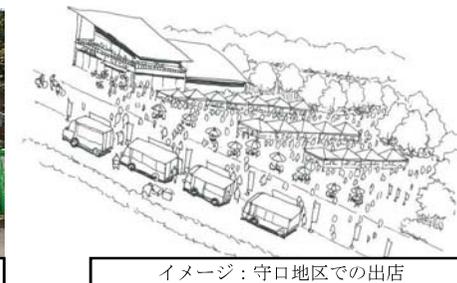
(7) 期待される機能

- ・憩い、物販：オープンカフェを通じた賑わい創出

(8) プログラム実施場所



(9) プログラム実施イメージ



3. 淀川体験プログラム(SUP 体験)

《機能／自然とのふれあい、憩い・レクリエーション》

(1) プログラム実施の目的

- ・各地区で開催されている淀川体験プログラムの守口地区での可能性について調査する。

(2) プログラムの内容

- ・スタンドアップパドルボード (SUP) 教室
- ・SUPを用いた淀川の自然観察体験プログラム

(3) 参加対象者、募集方法

- ・参加対象者は、ファミリー層
- ・募集方法は、淀川河川公園のホームページ、守口市広報などの媒体を通じて行う。

(4) 実施規模・設定金額(案)

- ・実施規模：1日あたり10人程度×3クール
- ・1クールあたり約90分
- ・設定金額：1人3,000円程度

(5) アンケートで確認すること

- ・SUP教室の需要、支払額、評価 (メニュー、立地特性、導入機能、規模等)
- ・他地区でのSUP教室等参加経験の有無
- ・利用客の属性
- ・移動手段

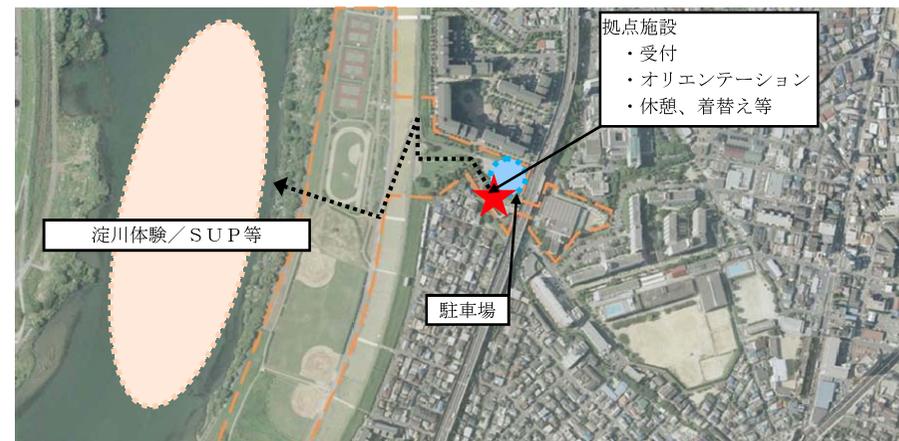
(6) プログラム連携団体

- ・SUP体験教室運営者

(7) 期待される機能

- ・自然とのふれあい：非日常の水上体験及び淀川の自然環境体験
- ・憩い、レクリエーション：SUP等水辺体験を通じた憩い、賑わい創出

(8) プログラム実施場所



(9) プログラム実施イメージ



(1) プログラム実施の目的

- ・レンタサイクルの拠点整備の可能性について調査する。
- ・あわせて、変り種自転車の試乗による集客可能性について調査する。

(2) プログラムの内容

- ・レンタサイクル（市街地の方へサイクリングも可能）
- ・変り種自転車試乗会（守口地区及び外島地区でのみ利用可能）

(3) 参加対象者、募集方法

- ・参加対象者は、自転車愛好家や興味のある人、変り種自転車に興味のある子ども連れ等
- ・募集方法は、淀川河川公園のホームページ、守口市広報などの媒体を通じて行う。

(4) 実施規模・設定金額(案)

- ・実施規模：普通自転車10台、変り種自転車3台
- ・設定金額：半日あたり500円程度

(5) アンケートで確認すること

- ・レンタサイクル利用の需要、支払額、評価（メニュー、立地特性、導入機能、規模、配置等）
- ・変り種自転車試乗会の需要、支払額、評価（メニュー、立地特性、導入機能、規模、配置等）
- ・利用客の属性
- ・移動手段

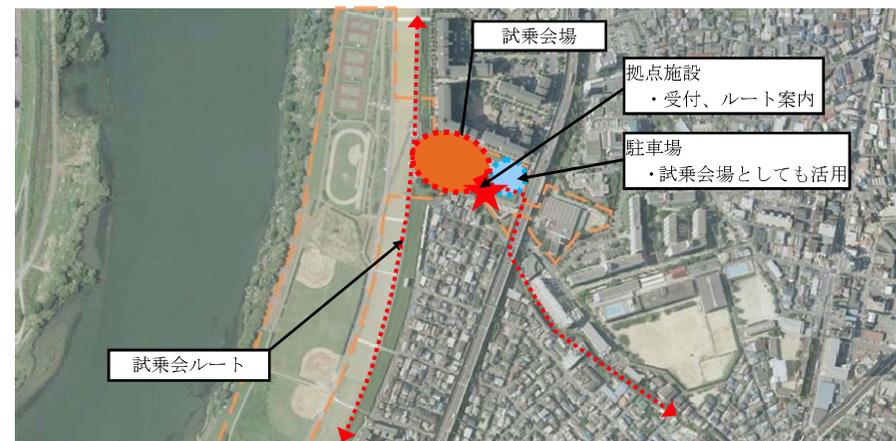
(6) プログラム連携団体案

- ・レンタル事業者

(7) 期待される機能

- ・レクリエーション：サイクリング愛好者の増加、サイクリング拠点としての賑わい創出
- ・川・まち連携：レンタサイクルによるまちなかとの連携促進、淀川サイクリングへの関心醸成

(8) プログラム実施場所



(9) プログラム実施イメージ



事例1：自転車試乗会（DE ROSA HP）



事例2：変り種自転車（エコチル HP）